

報道発表資料の配付日時 4月12日(金) 10時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 春山登山に関する注意喚起について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>春山登山シーズンの遭難・事故等を未然に防ぐため、上川総合振興局、留萌振興局、環境省大雪山国立公園管理事務所及び旭川地方気象台の連名により、別紙のとおり、注意喚起を行います。</p> <p>報道各社におかれましては、春山登山に関する注意喚起に積極的な報道をお願いします。</p> | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-------------------------|--------------|---------|--|
| 報道(取材) に当たって のお願い | | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配付 同時レク | 留萌記者クラブ | |

| | |
|-------------|---|
| 担当 (連絡先) | 上川総合振興局地域創生部危機対策室(主幹:鹿又 保春) TEL. ダイヤルイン 0166-46-5910 |
|-------------|---|

春山登山は十分な準備・計画と登山届で 遭難事故を起こさないよう万全な備えを！

今年は平年に比べ暖かい日が多く、4月以降も気温は高くなると予想されています。大雪山系・十勝岳連峰・暑寒別岳等の道北の山々には、まだ積雪が多く残っており、気温が上がると沢の増水や雪崩の危険も高くなります。また、気象の急変で冬山に様変わりすることもあり、本州中部地方の標高3,000m級の山に匹敵する厳しい気候です。この季節は高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わり、低気圧が急速に発達することもあります。天気の急変や寒暖の差には特に注意が必要です。登山の際には無理のない計画と万全な準備をして、余裕を持った行動を心掛けてください。

《山に入る際の留意事項》

- 単独登山は避け、経験あるリーダーのもと、各自の体力と経験に応じた無理のない、ゆとりを持った計画にしましょう。緊急用の避難コースや予備日も考慮に入れて計画を立てましょう。
- 装備・持物・服装を整え、十分な食料を用意しましょう。特に着替えを含め、防寒対策は万全に！
- 緊急時に備えて、携帯電話や無線機などを携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに。また、予めスマートフォンの位置情報（GPS）機能等の利用方法を確認するとともに、万一遭難して救助を求めるときは、すぐに110番通報しましょう。
- 登山届を必ず最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。また、北海道警察本部地域企画課にFax（011-251-3535）で送付することも可能です。なお、「北海道警察 安全登山情報」のページからオンラインで提出することも出来ます。
 ▼検索
- 道北地方の山では、6月でも吹雪や積雪状態となり、山頂付近では気温が氷点下になることがあります。また、低気圧が発達して、暴風や猛吹雪となることもあります。出発前には最新の気象状況や天気予報を確認し、無理な行動はしないよう心がけてください。最新の気象状況は旭川地方気象台のホームページ等で確認出来ます。
 ▼検索
- 大雪山系や十勝岳連峰では、火山活動により有毒なガスが噴出しているところがあるので、立入禁止の場所には入らないよう気をつけましょう。また、事前に気象庁の「火山登山者向けの情報提供ページ」で火山活動に関する情報を入手しましょう。
 ▼検索
- 大雪山系や十勝岳連峰は国立公園内です。自然を保護するため、ゴミは持ち帰り、トイレのない場所では携帯トイレを使用し、動物や高山植物等を傷つけないよう注意しましょう。特にヒグマを人慣れさせないためにも食料は絶対捨てないようにしましょう。また、春先は空気が乾燥するので、火の取り扱いには十分気をつけ、指定場所以外でのテント泊及び火気使用は控えてください。

本件の問い合わせ先： 上川総合振興局 地域創生部 危機対策室
留萌振興局 地域創生部 危機対策室
環境省 大雪山国立公園管理事務所
旭川地方気象台（火山防災担当）

Tel (0166) 46-5918
Tel (0164) 42-8426
Tel (01658) 2-2574
Tel (0166) 32-7102